

2003.11.15

「澤井河川塾」近畿通信 Vol. 37
(NPO 法人近畿水の塾ホームページ)

////////////////////////////////////
「澤井河川塾」祝3周年！
////////////////////////////////////

【河川塾NEWS】

みなさん、お元気ですか？

3年前の「澤井河川塾」近畿通信 Vol. 1 はこのような呼びかけで始まりました！

そして、記念すべき「第1回 澤井河川塾」は2000年の11月30日、澤井先生の河川学原論 その1『河川とは、「望ましい」川の姿』が初講義でした。

学生のころの気分に戻って、ドキドキしながらノートを取ったりしたのを思い出します。懐かしいですね。

この3年間で「澤井河川塾」は29回のデスクワーク、12回のフィールドワークを行い、訪れた河川は土居川など25河川を数えます。また、8つのイベントを主催または共催し、「私の水辺」大発表会など19のイベントに参加してきました。

「澤井河川塾」は、多様な市民が対話し連携する場として、これまでたくさんの方々にご協力とご参加をいただきました。

「特定非営利活動法人近畿水の塾」は、「澤井河川塾」の開催を通じて、これからも人と水との関わりが実感できる機会づくりや、活動や地域同士の連携を仲立ちする中で、市民による地域づくり、環境づくりを具体化していけるよう、ガンバります！！

これからも「澤井河川塾」をよろしくお願いします。

【前回河川塾の内容】

「第34回澤井河川塾」

日時：10月15日(水) 19:00～

場所：センター（いつもの6F会議室）

内容： 「第4回全国源流シンポジウム in 高津川」

マイリバー紹介「庄下川」

今回の河川塾は福廣さんの「第4回全国源流シンポジウム in 高津川」のご報告と安田さんから「庄下川」のご紹介でした。

では、まず福廣さんの話題提供から・・・(小川が味付けしています。)

源流シンポの詳細は右記アドレスへ <http://www.iwami.or.jp/andante/>

近畿水の塾 川上さん・福廣さん・澤井先生・関さん・小川さん・富田さんの6名の方の参加があり、加えて皆様ご存知の私の先輩である林さん、澤井ゼミのメンバー8人が参加しました。

9月12日(金)は南から台風14号が迫ってくる中、私たちは北から南へ向かうという???な感じでした。

夕方から始まる前夜祭に遅れて参加したのですが、雨が降っているにも関わらず大勢の参加者が交流を深めていました。また、匹見地方に伝わる伝統芸能匹見神楽の演舞もあり大変満足するものでした。

9月13日(土)午前中は住民の方による源流域の生活を映像等により判りやすく紹介していただき、続いて「日本の源流 世界の源流」というテーマで高橋裕(世界水会議理事)先生のお話を聴講しました。お話の中で「大学生に失望しているが、参加者である摂南大学の学生には期待できるな～」との発言にかなりのプレッシャーを感じました。

昼からは分科会に分かれ行動しました。どの分科会でも住民の方々による暖かいおもてなしに感動していました。

9月14日(日)最終日。高津川の水源の1つを見に水源公園へ。湧き出る量の多さに驚きの声が多々ありました。閉会式では「高津川源流宣言」を参加者で読み上げました。

全体を通して僕は福廣さんの言葉が印象深かったです。

「1つのイベントなのに同時に6つのイベントを同時に行っている」この真意は福廣さんまで・・・。

次に、尼崎市の安田さんから庄下川についてのご紹介を・・・

兵庫県尼崎市内を流れる庄下川の歴史～現在までを資料を用いて判りやすく説明していただきましたので、資料については安田さんまでお願いします。

庄下川の概要

藻川・武庫川・昆陽池を水源とし、尼崎市内を流れ松島排水機場で左門殿川へ排水させ大阪湾へ注ぐ流路延長 7.3km 流域面積 25.6km²の一級河川です。

庄下川に携わる人たちの悩み

上流部において：大雨が降ると河川が氾濫し、人々の命を脅かす恐ろしい川になる。



- ・どのような改修工事が河川氾濫を抑えかつ生き物にとってやさしい状態になるのか???
- ・上下流域問わず市民、住民が親しみを持てる川にするためイベントみたいなものを行いたい、あまりお金を掛けずしかし温かみのあるイベントはできないか???
- ・下流において治水を考慮し河床を掘り下げ常時の水面を下げたが、生き物にとってはちょっときびしい状態に……。どうすれば良いか???

と問題提起がありました。

次回もこの話題は続きます。

[記録担当：摂南大学 小川&富田]

【次回の予告】

次回、「澤井河川塾」のご案内です。

第35回「澤井河川塾」

日時：11月22日(土) 13:00～17:00

・・・今月はフィールドワークです!!(お間違えなく!)

第35回 澤井河川塾 庄下川リバーウォッチング

よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～

- ・ 庄下川は戦後復興から高度経済成長期にかけて、工場排水や生活排水の流入による水質汚濁が進み、さらに地盤沈下の影響を受け流れがなくなるなど構造的な欠陥を持つようになり、生き物がまったくいない死の川になりました。
- ・ しかし、下水道整備や今から 10 年前に実施された水質浄化短期対策を経て、水質は劇的によくなり、生き物も帰って来ました。
- ・ かつて、庄下川もホタルが舞う清流だった頃、他の川と同じように人々の暮らしの中にありました。
- ・ 現在も、川沿いには何万もの人々が生活していますが、川の中のゴミなどを見ると、きちんと川と向かい合って生活している人はわずかしかないように思います。
- ・ 当日は、水質浄化や治水の仕組み、又、現在の川の景色、人と街の様子をじっくり見ていってください。庄下川は延長 7.3 キロの短い川ですが、46 万人の人口を持つ尼崎市のド真ん中を南北に貫いて流れており、北部の住宅地から南部に行くにつれ、住工混在、商業、工業と街の様子が変わっていきます。
- ・ 当日は何かテーマを決めます。また、庄下川 Q & A も用意します。(できれば・・・ですが。)

1 . 日時 平成 15 年 11 月 22 日 (土) 午後 1 時 ~ 5 時 (小雨決行)

2 . 集合 阪急神戸線「塚口駅」南改札口前 午後 1 時 時間厳守!

3 . ルート 阪急塚口駅 ~ 南塚口町 8 丁目 ~ 松島排水機場 ~ 阪神尼崎駅
約 10 キロ近く歩きます。

4 . 案内人 近畿水の塾 安田博之 (尼崎市土木局河港課河川担当)

5 . 参加申し込み NPO 法人近畿水の塾事務局 佐藤まで 11/20(木)締切

TEL・FAX 0725-53-5325 E-mail mizunojuku@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/mizunojuku/index.html>

6 . 当日連絡先 安田携帯 090-3721-1974

7 . その他

- ・ 5 時以降、阪神尼崎駅に戻り懇親会を予定。会場は知る人ぞ知る、居酒屋ごん兵衛!
- ・ 小雨決行ですが、どちらか判断つかない方は、11 時以降に安田携帯まで。(11 時の空模様で判断します)

以上

[安田]

【マイリバー／川びと】

<マイリバー紹介>

天満の川 淀川支流「大川」 白木 江都子

大川の水の色や、流れる速さを思い出す。流木や犬猫の死骸まで運んで、あるときは大阪港の方へ、あるときは大阪城の方へ、急いで流れていた。どうして流れが変わるのか気になりながら、誰に尋ねた覚えもない。どこの川もそうだと思っていた。潮の干満の影響を受ける感潮川、という言葉があることは最近知った。

家のすぐ近所に、ボート屋の家族が住んでいた。おっちゃんは南の島の人のような風貌で、真っ黒に日焼けし、いつも裸足だった。おっちゃんはホウキグサを川に沈め、一つ一つ引き上げるときに、ポトポト落ちるウナギやテナガエビを籠に入れていた。

天神橋北詰の階段を下りると、おっちゃんのボート屋がある。2人乗りと3人乗りのボートが8艘ほどロープで繋がれ、音を立ててぶつかり合いながら波に揺られていた。網を持ってフナ・テナガエビ・ウナギの子・ギンメンなどを追いかけて、おっちゃんが見ていないときは、ボートからボートへと飛び移り、たまに川に落ちて（川にはまる、と言っていた）家までずぶ濡れで帰るのは恥ずかしかった。

親から焼夷弾のせいだと聞かされる割れ目が、護岸のあちこちにあって、船が通るたびにそこから水しぶきがあがる。水の出入りに合わせて出たり入ったりしていたカニは、今から思うとクロベンケイやアカテガニだったろうか。

大川はいきなり深い。兄から借りた硬球で手まりつきをしようとしたが、傾斜護岸だからあっけなく川に落ちた。満潮に近く流れも速かった。兄の怖い顔が浮かび、ためらわずに川に入ったものの、背は立たず流された。当時川沿いの家は裏が畑になっていて、運良く畑仕事をしていたおばちゃんが、竿を差し出して助けてくれた。

潮が引くと、角地だけが浅瀬になり、沈んだ鰻の残骸が姿を見せる。30 cmぐらいのハスが数匹、鰻の残骸に沿って追いかけて、悠々と旋回する。ハスを捕まえることができたなら、兄や弟たちを驚かせることができるのに、ときどきしながら見えなくなるまで眺めていた。

水中の小石は、どうしてあんなにきれいな色なのだろう。乾くとただの石に戻ってがっかりするのに、懲りずに拾って持って帰る。特に白い角の取れた小石が好きだった。

ねんねころいち 天満の市よ だいこそろえて 舟に積む
舟に積んだら どこまでいきやる 木津や難波の橋の下
橋の下には カモメがいやる カモメとりたや 網ほしや

祖母が歌ってくれた「天満の子守歌」を、今私は孫のために歌っている。
弟は孫を抱いて天神橋の上に立ち、飛び交うカモメにパンを与えるという。
人はこんな風にして、川への思いを伝えていくのだろう。

次回、マイリバー紹介は足立崇弘さんです。
お楽しみに！

【川の情報ボックス】

イベント報告

< 自然遊学館 10周年記念祭 >

と き：10月25日(土) 12:00~15:00
場 所：シェルシアター・関空交流館
内 容：「自然遊学館10年の足跡」写真展(関空交流館)
よさこい踊りもどき・合唱・太鼓演奏(シェルシアター舞台)

“まちなかの小さな博物館” - 貝塚市自然遊学館が創立10年目を迎えられました。
おめでとうございます！！

懐かしい『とんぼの池づくり』の活動から今年の夏の『私設 水辺の学校』まで、
とにかく貝塚に足しげく通っている近畿水の塾は、もちろん自然遊学館10周年記念祭に
駆けつけました！

抜けるような青空のもと、会場はおなじみシェルシアター。

まずは開会ご挨拶のあと、貝塚市自然遊学館10周年記念誌の贈呈式がありました。
そして、おめでたい堀さん親子の祝賀太鼓。

大人も子どもも舞台と客席いっせいの乾杯の後は、ちょうどお昼時ということで、昼食
兼歓談タイムとなりました。

会場の背後には焼きいも屋さんやたこ焼き、お好み焼きなどの模擬店が並び、ムード満点！
会場のそこそこに気の置けない仲間同士が集い、そして語り合い、大いに盛り上がって
いました。

昼食の後は、遊学館職員さんたちの自己紹介。

みなさん、遊学館10周年の軌跡とご自身の思い出を語っていただきました。

次に、白木悦子さんが舞台から客席の一人一人を、お名前とコメントで紹介していく「来
場者紹介」(全員！)があり、続いて全員で舞台の上にあがって、「川はだれのもの」の大
合唱。

そして、フィナーレは『自然遊学館わくわくクラブ』のメンバーさんによる、とっても元気な「よさこい踊り」です。

これが普通の「よさこい踊り」と違って、アップテンポなリズムでメンバーの息の合ったダンスでビックリ！

ビックリしているうちに、あれよあれよとみなさん舞台上に合流し、最後はやはり“全員よさこい踊り”になって心地よい一体感を感じながら舞台を降りました。

こんな楽しい輪が子どもたちに、家族に、そして地域に広がっていくことが、小さな博物館の意義を大きくしてきた理由なのでしょう。

遊学館の10年の意味がちょっぴりわかったような気がしました。
そして今日、私たちもまた遊学館で、明日への元気を頂いて帰りました。



自然遊学館スタッフ紹介



模擬店也大繁盛！



来場者全員！紹介



全員!! よさこい踊り

[侑]

【事務局より】

おめでたいニュースをあと2つ。

あの山道さんの「全国水環境交流会」がついにNPO法人化！

近畿水の塾の大先輩、「水環さん」がNPOの仲間入りをされました。

おめでとございます！！

これからも情報交換や連携を密にして、近畿の、そして全国のより良い川・水環境づくりを目指していきたいですね。

そして...

あの土谷さん（木下さん）がおめでた！！

渡独中の土谷さんから会員MLにビックニュースが飛び込んできました！

ただいま妊娠5ヶ月、母子ともにお元気ですくすくと育ておられるようです。

土谷さん、木下さん、ほんとうにおめでとございます。

3年後の木下さんファミリーの3人（もしかして4人？）でのご帰国が、今からとっても楽しみです。